

## 令和 2 年度 第 1 回 全国健康保険協会山梨支部評議会 議事録

- 【開催日時】 令和 2 年 7 月 13 日（月） 14：00～16：00
- 【開催場所】 ニュー芙蓉（甲府市塩部 3-6-10）
- 【出席委員】 稲田評議員、千野評議員、野沢評議員、野村評議員、豊前評議員、堀内評議員（委任状）、堀之内評議員、茂手木評議員（五十音順）
- 【議 題】
1. 令和元年度決算について
  2. 令和元年度支部事業実施結果について
  3. 支部保険者機能強化予算について
  4. 運営委員会等の報告について
  5. その他

### 【議題 1】 令和元年度決算について

<意見等>

後期高齢者支援金と前期高齢者納付金について教えてほしい

→ 後期高齢者医療制度において、どこの健康保険に加入していても 75 歳を迎えた段階で全員後期高齢者の健康保険に加入することになる。制度の運営にあたり、各医療保険者には後期高齢者支援金の拠出が求められ、財政の内訳は、本人負担が 1 割、後期高齢者支援金が 4 割、残りは公費負担で運営している。一方、前期高齢者とは 65 歳～74 歳までの方であり、国民健康保険に加入している方の割合が非常に大きくなっている。各医療保険者間で調整するために前期高齢者納付金を拠出している。

準備金について、運用等はしているのか？

→ 定期預金で 6,000 億円運用している（決算の運用収入 400 万円はこの利息分にあたる）

### 【議題 2】 令和元年度支部事業実施結果について

<意見等>

企画総務グループ及び保健グループについて、3 月までは新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに業務を遂行できたということによろしいか？

→ 企画総務グループにおいては、2月～3月に予定していた健康保険委員向け研修会を残念ながら中止とさせていただいた。それ以外の業務については概ね遂行できた。保健グループにおいては、健診について年度末のラストスパートで伸び悩んだという印象がある。特に被扶養者の健診については前年度を上回ることはできたが、目標達成は叶わなかった。両グループとも4月～5月（令和2年度）にかけての影響の方がより大きかったと言える。

業務グループで実施した「被保険者資格の再確認」について、確認書の提出がなかった事業所に対する催促等はしたのか？

→ 1月で一旦受付を閉めた後、未提出事業所を抽出して本部より催促の通知を送付している。今回お示した事業結果（91.0%）は最終的な提出率となる。また、本事業は令和2年度も実施予定であり、丁寧な広報等を実施して引き続き提出をお願いしたいと考えている。

ジェネリック医薬品について、全国に比べ使用割合が低いという状況で、これまでは新薬（先発医薬品）と同等の効果が得られるという認識がまだ浸透していないということがあったと思う。最新の数値で76.7%（令和2年2月現在）、目標（令和2年9月の使用割合80%）達成に向けて令和2年度も頑張っていたきたい。

→ 令和2年度はお子さんのいる世代（30～40代）に対し、お子さんのお薬にジェネリック医薬品の使用をお願いする旨の文書を送付予定である。

健康宣言事業所に実施したアンケートの結果について、今後どのように活用していくのか？

→ アンケート結果については、健康宣言事業所に対する健康情報誌の送付と併せてフィードバックする。健康宣言事業所への支援を今後どのようにしていくかをこれから検討していくところであり、令和3年度の支部保険者機能強化予算策定の中で、評議員の皆様にお示ししたいと考えている。

保険証の回収について、回収にかかる催告は返してくれるまで実施するのか？  
また、返さずに保険証を使用して返納金となった場合はどうするのか？

→ 令和元年度までは3次催告まで実施していたが、令和2年度から4次催告以降も返してくれるまで実施している。返納金が発生した場合も同様に複数回の催告を実施している。支払いに応じていただけない場合は法的手続へ移行する。

出産育児一時金について制度そのものを知らない人もいます。制度の周知などは十分にできているのか？

→ 出産育児一時金について、現状、医療機関と本人で同意書を取り交わし、医療機関から医療保険者に直接請求する「直接支払制度」を利用するケースが1番多くなっている。産科医療制度に基づいて、お子さん1人につき42万円の給付を受けることができる。42万円を超えた分については医療機関から本人に請求されるのに対し、42万円かからなかった場合は、後日協会けんぽに申請をすることで差額分を本人にお支払いしている。差額分の給付が発生した場合は医療機関から情報が来るようになっているため、申請していない方については、通知案内をお送りして申請をお願いしている。

### 【議題 3】 支部保険者機能強化予算について

<意見等>

支部保険者機能強化予算について、新型コロナウイルス感染症の影響により組み換えた場合、支部評議会として対応することはあるのか？

→ 特にはない。今後令和3年度の支部保険者機能強化予算策定時に素案を作成するにあたり、ご意見・アイディア等をお出しいただければ、できるだけ予算案に反映させていきたいと考えている。

### 【議題 4】 運営委員会等の報告について

… 意見等なし

### 【議題 5】 その他

… 次回の評議会は令和2年10月を予定

### 【特記事項】

傍聴 … 山梨日日新聞、YBS山梨放送

令和2年7月14日（火）の山梨日日新聞朝刊に、支部評議会の開催と令和元年度決算に関する記事が掲載された。

以上